

## Lesson 01

## 新規ファイルを作ろう

ここでは、ホーム画面から新規のファイルを作成する方法を学びます。

練習ファイル なし

完成ファイル ch1-1.fig



## 1 ホーム画面のボタンをクリックする

左サイドバーの[チーム名("アカウント名"のチーム)]から[ドラフト]をクリックします①。画面右上にある[デザイン]ボタンをクリックします②。

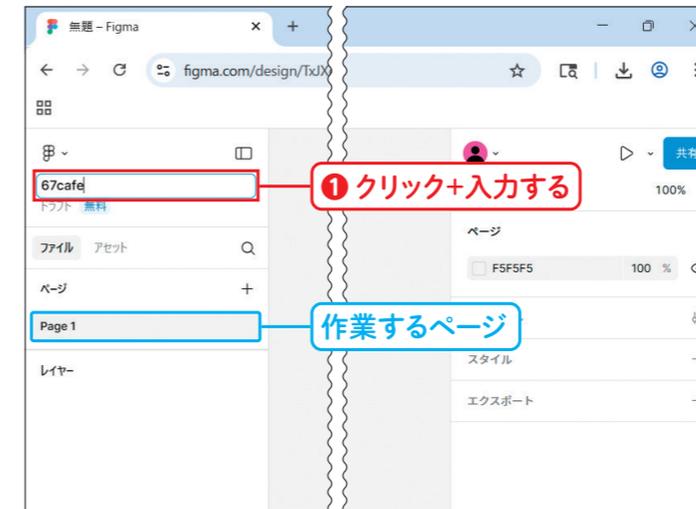


## 2 「無題」ファイルが作成される

画面が切り替わります。ファイル名は「無題」と表示されています。

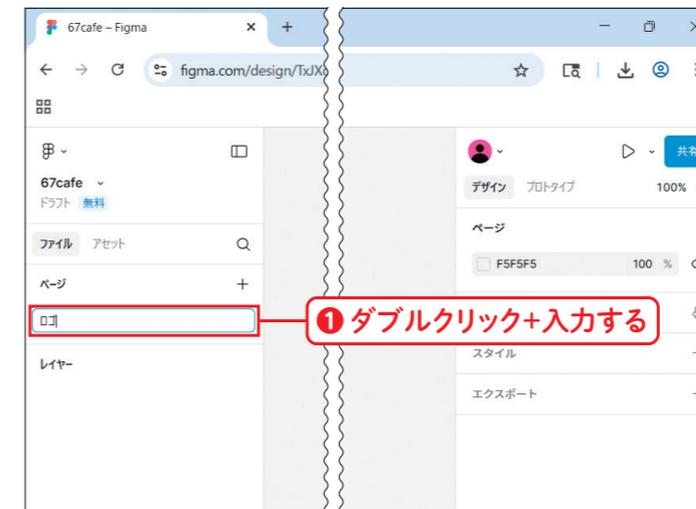
## MEMO

ホーム画面に戻るには、左上の[メインメニュー] → [ファイルに戻る]の順でクリックします。



## 3 ファイルの名称を変更する

左サイドバーのファイル名の上でクリックすると、ファイル名を書き換えることができます。[無題]をクリックして、「67cafe」と入力します①。左サイドバーにある「Page1」がこれから作業するページです。



## 4 ページの名称を変更する

「Page1」の文字の部分ダブルクリックして、「ロゴ」と入力します①。

## CHECK

## 実務でのページ機能の使い分け

実際のデザインの作業でページ機能を使用するときには、同じ案件の1つのドキュメントの中で、たとえば「ワイヤーフレーム」「デザイン」「デザインのガイドライン」などのワークフローに沿ってページを分けたり、「PC向け」「モバイル向け」などのデバイスごとにページを分けたりします。「Figmaのページ分けはこうしなければならない」という決まりはないので、案件の規模に応じて、作業がしやすいページ構成を検討していきましょう。

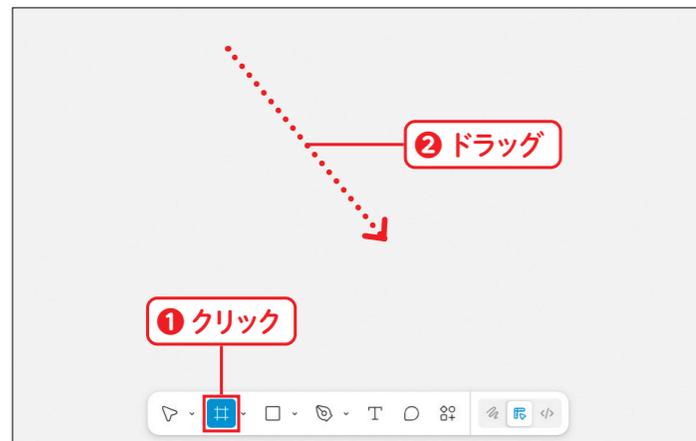
## Lesson 02

## フレームを作ろう

Figmaで何かの形(オブジェクト)を作るには、はじめに入れ物となる「フレーム」が必要になります。ここではロゴ用のフレームを作ります。

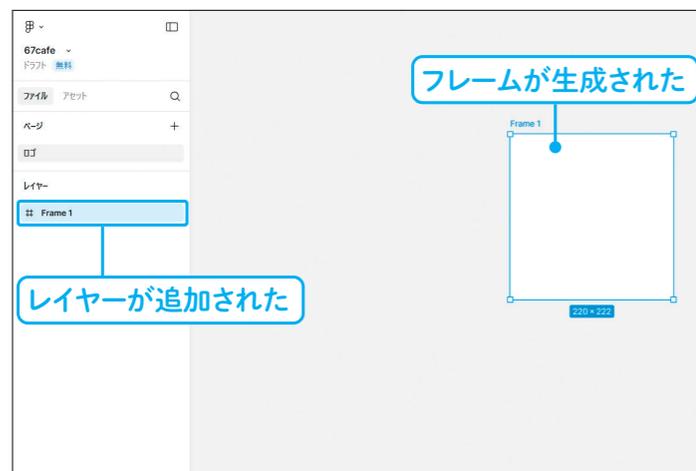
練習ファイル ch1-1.fig

完成ファイル ch1-2.fig



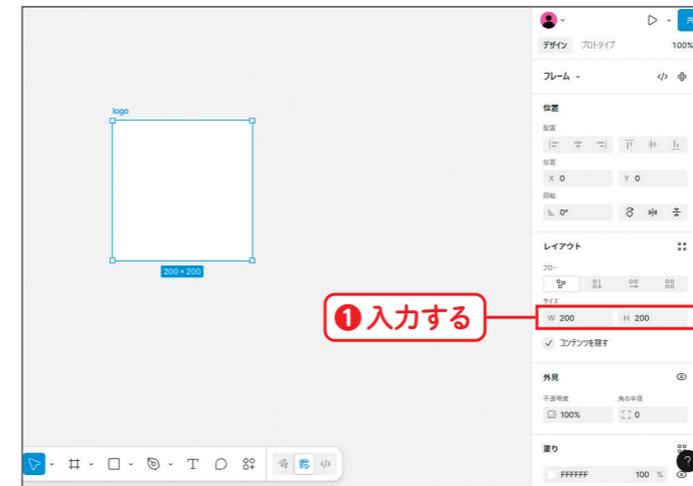
## 1 [フレーム]ツールを選択してドラッグする

ツールバーの[フレーム]ツール  をクリックして選択し①、キャンバス上で斜め下方向にドラッグします②。



## 2 フレームが生成される

キャンバス上にフレームが生成されます。左サイドバーの[レイヤー]に「Frame1」レイヤーが追加されます。



## 3 フレームのサイズを調整する

右サイドバーの[サイズ]にある[W][H]に半角数字でフレームのサイズを入力します①。

W	200
H	200

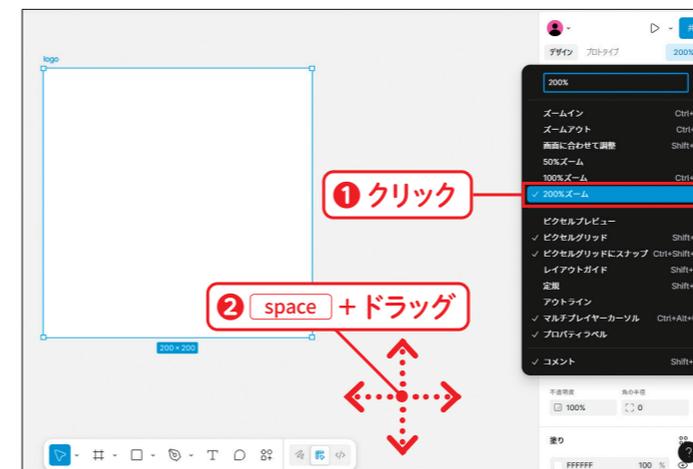
## MEMO

[W]はオブジェクトの幅(Width)、[H]はオブジェクトの高さ(Height)を示します。



## 4 フレーム名を変更する

フレームの左上には、「Frame1」というフレーム名が表示されます。文字の上でダブルクリックして「Logo」と入力し①、フレーム名を変更します。続いて、[ズーム/表示オプション]をクリックします②。



## 5 キャンバスを拡大してフレームを画面中央にする

[ズーム/表示オプション]画面で表示倍率(ここでは[200%ズーム])を指定します①。[space]キーを押しながらキャンバス上をドラッグし②、フレームが中央になるよう調整します。

## MEMO

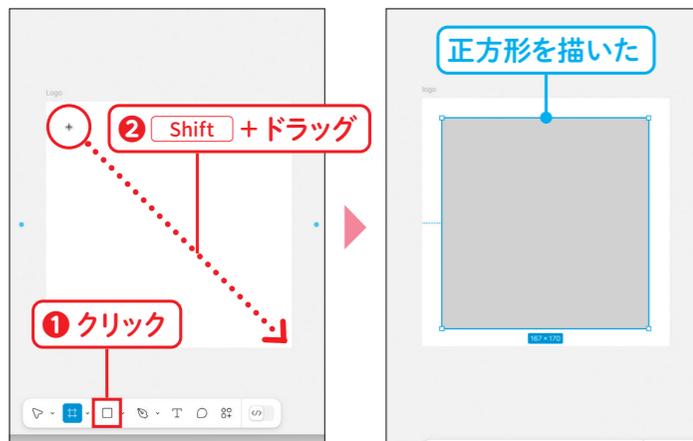
表示倍率はショートカットキーでも変更が可能です。P.78の「ショートカットキーの一覧」を表示して、[ズーム]をクリックすると使用するキーを確認できます。

## Lesson 03

## 角丸四角形を描こう

ここでは、四角形を描いて、その角を丸くする方法を学びます。

練習ファイル ch1-2.fig 完成ファイル ch1-3.fig



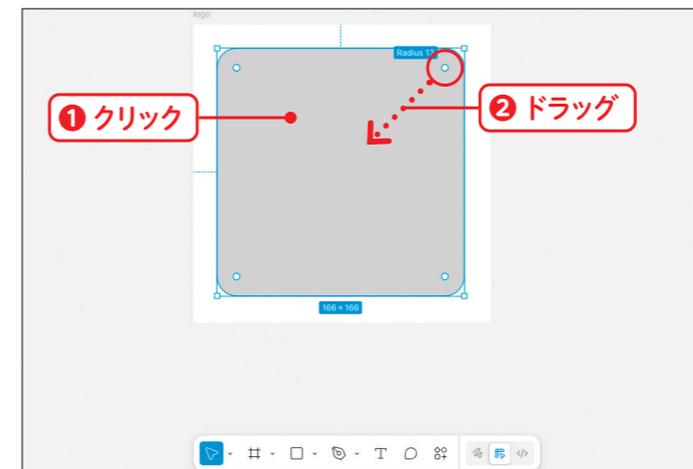
## 1 正方形を描く

正方形を描きます。ツールバーの[長方形]ツール  をクリックし①、P.32で作成したフレーム上の図のような位置で、**Shift** キーを押しながら斜め下方向へドラッグします②。

## 2 正方形のサイズを指定する

描いた正方形が選択された状態で、右サイドバーの[サイズ]にある[W][H]に、半角数字でフレームのサイズを入力します①。

W	166
H	166



## 3 角を丸くする

正方形をクリックして選択した状態になると①、正方形の内側の角に丸いアイコン  が表示されます。アイコンの1つを正方形の内側へドラッグします②。



## 4 角丸の大きさを指定する

右サイドバーの[角の半径]に半角数字で「13」と入力します①。



## 5 選択を解除する

正方形の角が丸くなりました。正方形の外をクリックして①、選択を解除します。

## Lesson 04

## 半円を描こう

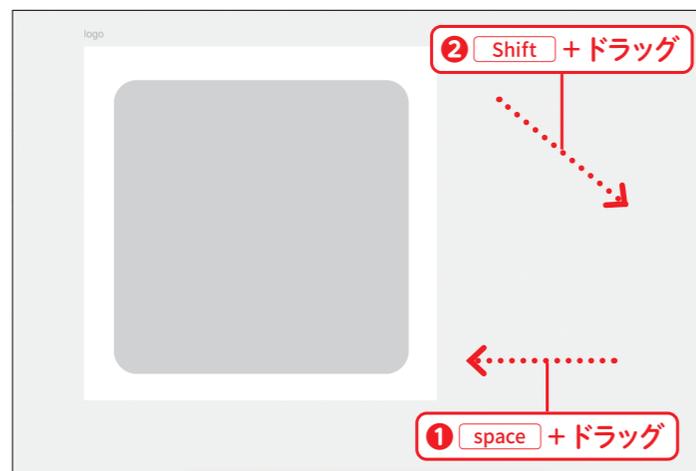
ここからは、コーヒー豆のアイコンを作っていきます。まずは円を描いて、それを半円に加工する方法を学びます。

練習ファイル ch1-3.fig 完成ファイル ch1-4.fig



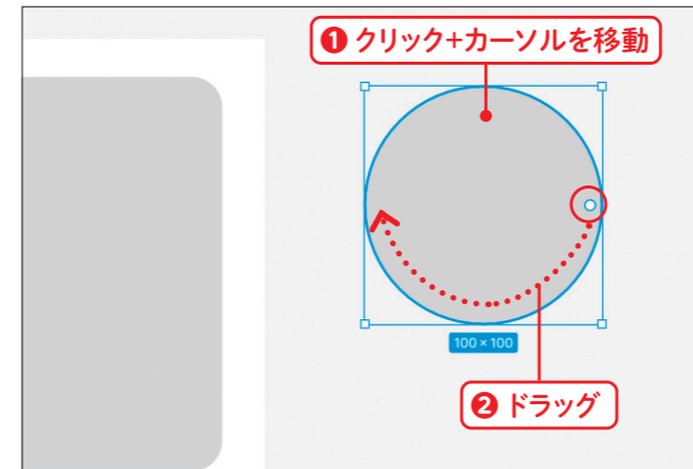
## 1 ツールを切り替える

ツールバーの[長方形]ツールの右側にあるアイコン▼をクリックして①、シェイプツールのグループの中から[楕円]ツールをクリックして選択します②。



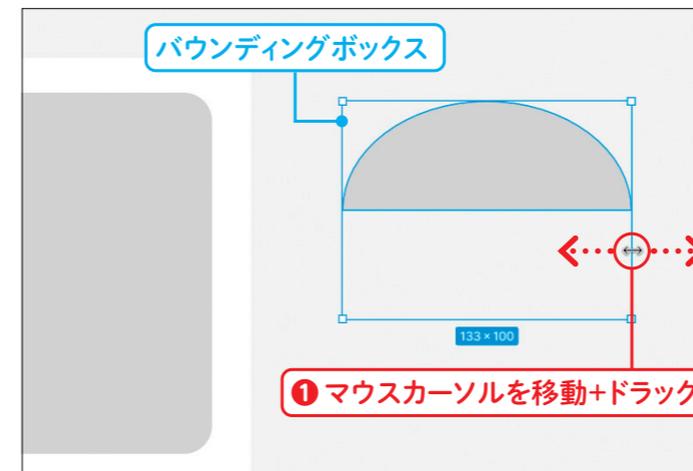
## 2 フレームの外で正円を描く

[space] を押しながらキャンバス上をドラッグして、画面を左に移動します①。フレームの外側で[shift] を押しながら斜めにドラッグすると②、正円が描けます。



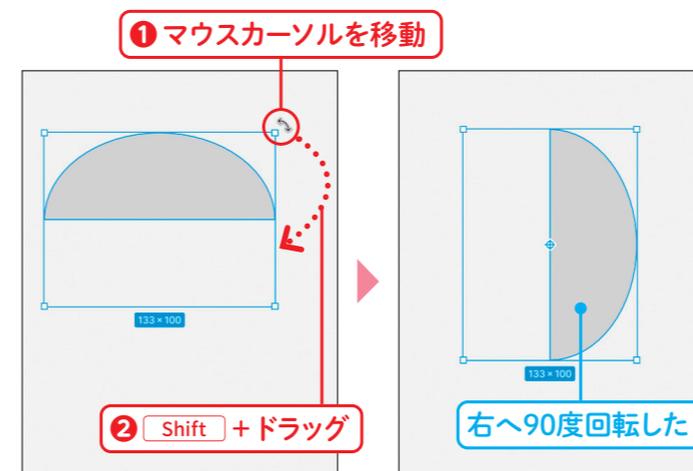
## 3 半円を作る

円をクリックして選択し、マウスカーソルを円の内側へ移動します①。円内の右側に表示される○を時計回りに180°ドラッグすると②、下半分がない半円に変形します。



## 4 半円を変形する

作成した半円をクリックして選択し、左右いずれかの青い枠(バウンディングボックス)の上にマウスカーソルを移動します。マウスカーソルのアイコンが⇔に変化したら、その状態で左右にドラッグして半円を横長に変形します①。



## 5 半円を回転する

半円をクリックして選択し、バウンディングボックスの右上の角にマウスカーソルを移動します①。マウスカーソルが↘に変化したら、その状態で[Shift] キーを押しながら90度ドラッグすると②、半円が90度回転します。

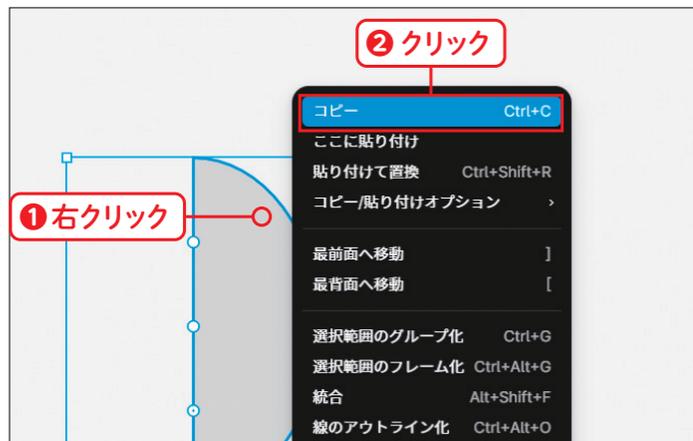
# Lesson 05

## オブジェクトを複製 & 変形しよう

ここではP.36で作成した半円を複製して反転し、コーヒー豆のアイコンを作成します。

練習ファイル ch1-4.fig

完成ファイル ch1-5.fig



### 1 半円をコピーする

作成した半円を右クリックして①、[コピー]をクリックします②。

#### MEMO

コピーと貼り付けはショートカットキーでも可能です。

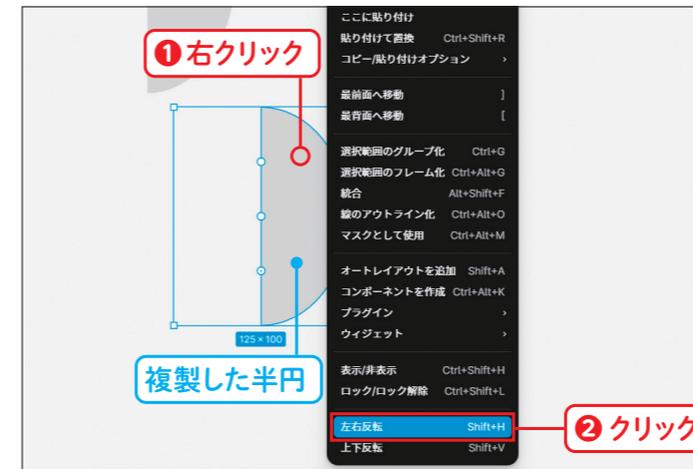
コピー	Ctrl (Macは Command) + C
貼り付け (ペースト)	Ctrl (Macは Command) + V

### 2 半円を貼り付ける

キャンバスの空いている部分で右クリックして①、[ここに貼り付け]をクリックします②。半円が貼り付けられて、複製されます。

#### MEMO

ブラウザで「www.figma.comが次の許可を求めています」と表示されたら[許可する]をクリックします。

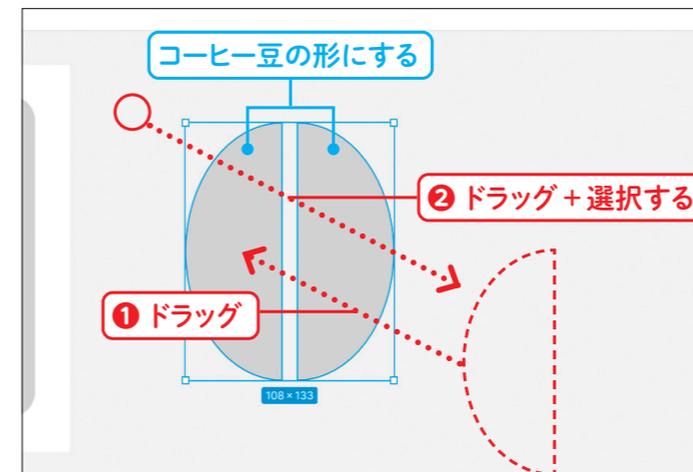


### 3 左右を反転する

複製したほうの半円を右クリックして①、[左右反転]をクリックします②。

#### MEMO

右パネルの[位置]→[変換グループ]の[左右反転]  をクリックすることでも同様の操作ができます。



### 4 半円どうしの位置を整える

複製した半円をドラッグして移動し①、半円どうしを近づけて「コーヒー豆」の形にします。2つの半円を囲むように周囲をドラッグします②。

#### MEMO

半円を選択した状態でカーソルキーを押すことでも、移動させることができます。



### 5 2つのオブジェクトを傾ける

2つの半円が選択された状態で、P.37手順⑤の操作で「コーヒー豆」を斜めにします①。

#### MEMO

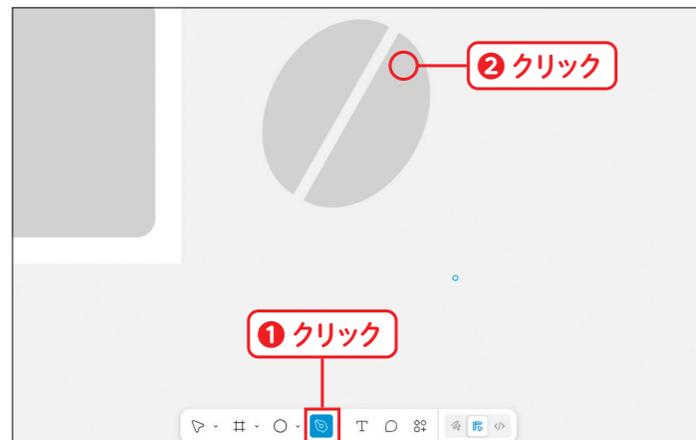
shift キーを押しながら順にクリックすることでも、2つの半円を選択できます。

## Lesson 06

## 曲線を描こう

コーヒー豆の影やハイライトの部分を表現しましょう。[ペン]ツールを使って曲線を描きます。

練習ファイル ch1-5.fig 完成ファイル ch1-6.fig

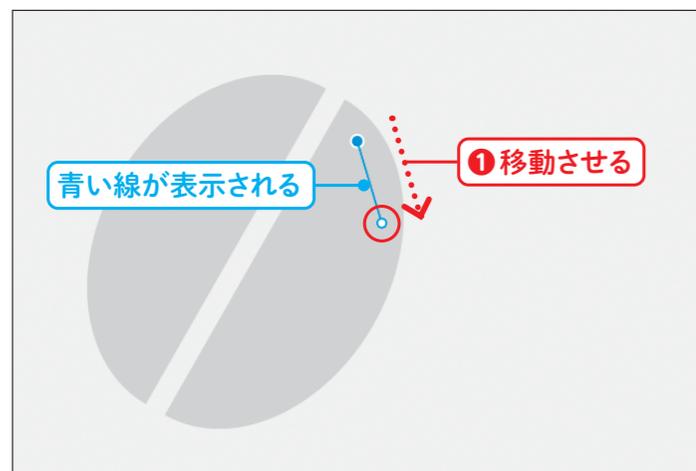


## 1 [ペン]ツールを選択して始点をクリックする

コーヒー豆の中に曲線を描くため、ツールバーの[ペン]ツールをクリックして選択します①。曲線の始点になる場所をクリックします②。

## MEMO

[ペン]ツールの右の ▾ → [鉛筆]の順でクリックすると、鉛筆ツールを利用できます。

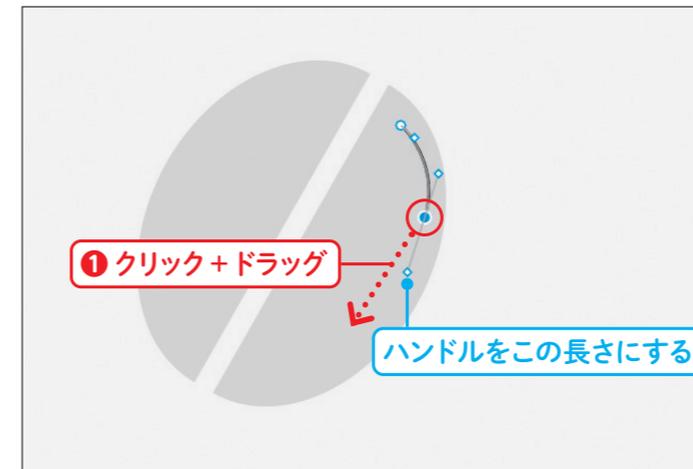


## 2 終点の位置を決める

曲線の終点の位置まで、マウスカursorを移動させます①。青い線が表示されます。

## MEMO

青い線は描画予定の線をシミュレートしたもので、この時点では直線になります。



## 3 終点をドラッグする

曲線の終点の位置でクリックし、やや左下へドラッグします①。先に丸いアイコンがある「ハンドル」が表示されるので、そのまま図のような長さになると、曲線の曲がり具合を調節できます。



## 4 [ペン]ツールを終了する

[ペン]ツールの使用中に表示されるバーの[閉じる] × をクリックして①、[ペン]ツールを終了します。

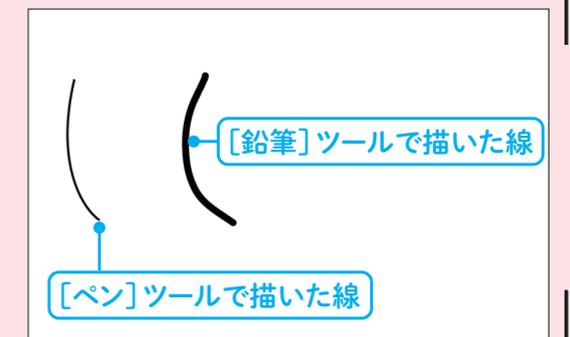
## MEMO

手順④のバーで[曲線]ツール ⇨ をクリックすると、曲線を直接ドラッグして曲がり具合を調節できます。

## CHECK

## [ペン]ツールと[鉛筆]ツールの違い

[ペン]ツールは「アンカー」と「ハンドル」で線を描く方式で、Adobe Illustrator (アドビイラストレーター) の[ペン]ツールと使い方が似ています。[鉛筆]ツールはドラッグで線を描く方式で、いわゆるフリーハンド的に操作します。[鉛筆]ツールは自由度が高い反面、きれいな線を描くのが難しいため、正確な描画が求められるUIデザインにはやや不向きです。

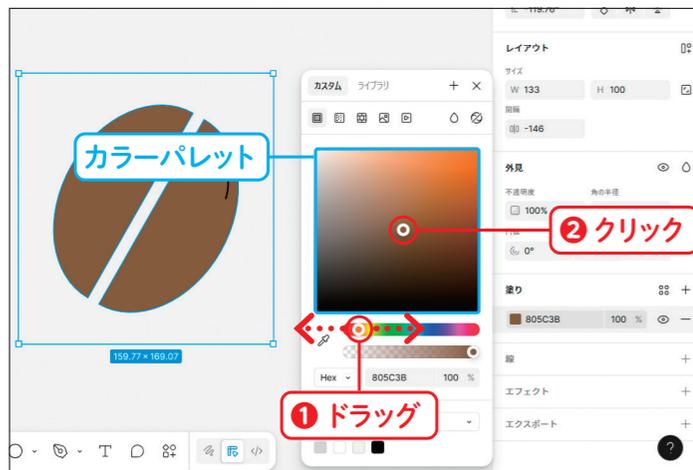
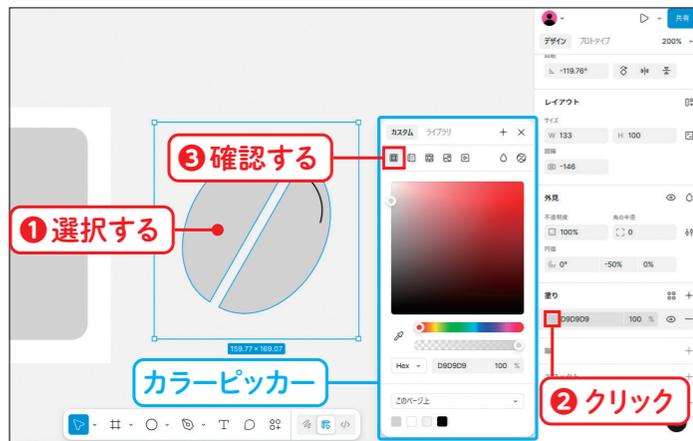


# Lesson 07

## 塗りと線を設定しよう

ここまで描いたコーヒー豆のオブジェクトに色をつけていきます。Figmaで描いたオブジェクトの色には、「塗り」と「線」を設定できます。

練習ファイル ch1-6.fig 完成ファイル ch1-7.fig



### 1 「塗り」のカラーピッカーを表示する

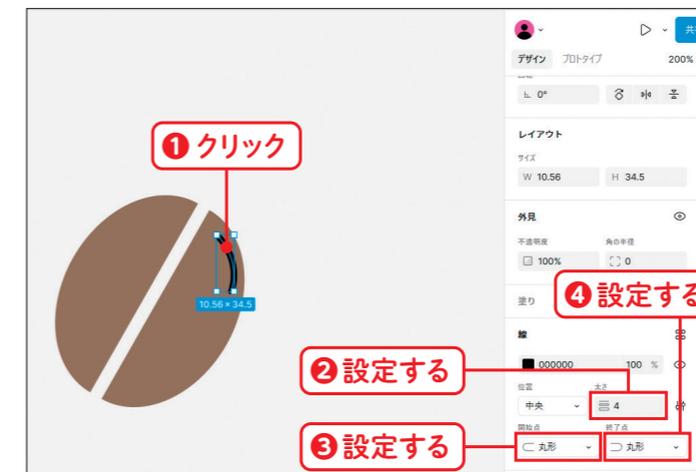
コーヒー豆の2つの半円を **shift** を押しながらかlickして、選択します**1**。右サイドバーの[塗り]に表示される灰色の四角形  をクリックすると**2**、「カラーピッカー」が表示されます。[単色]が表示されていることを確認します**3**。

### 2 「色相」(色の種類)を設定する

正方形のカラーパレットは、色の鮮やかさと明るさを示しています。はじめに、その下にある虹色の「色相」のスライダーをドラッグして**1**、オレンジの色調にします。カラーパレットの中心をクリックします**2**。

#### MEMO

**1**の「色相」の下にあるスライダーは「不透明度」を調整するものです。ここでは使用しません。



### 3 色の「明るさ」と「鮮やかさ」を設定する

カラーパレットの中央のアイコンをやや左へドラッグして**1**、くすんで落ち着いた茶色 (HEX 値: 8F7156) に変更します。

### 4 「線」の太さと種類を設定する

P.40で描いた曲線をクリックして選択します**1**。右サイドバーの[線]で、太さ**2**、始点**3**、終了点**4**を設定します。

<b>2</b> 太さ	4
<b>3</b> 始点	丸形
<b>4</b> 終了点	丸形

### 5 「線」のカラーピッカーを開く

線が選択されている状態で、右サイドバーの[線]の四角形  をクリックすると**1**、カラーピッカーが表示されます。カラーピッカーの[サンプルカラー]ツールのアイコン  をクリックします**2**。



## 6 スポイトツールで色を複製する

コーヒー豆のオブジェクトの上へマウスカーソルを移動してクリックし①、線の色をコーヒー豆の色と合わせます。



## 7 色の「明るさ」と「鮮やかさ」を設定する

カラーパレット上の丸アイコンを上方方向へドラッグして①、色の明るさと鮮やかさを設定します。



## 8 角丸正方形の「塗り」を設定する

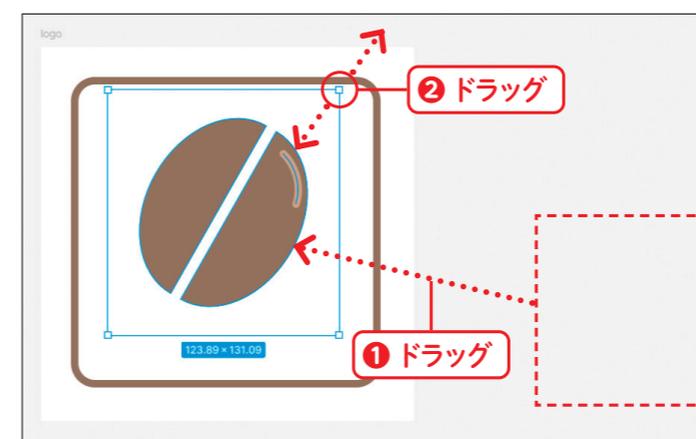
P.34で描いた角丸正方形をクリックして選択します①。右サイドバーの[塗り]のグレーの四角形のアイコンをクリックしてカラーピッカーを開き②、カラーパレットのエリアで左上にカーソルをドラッグして③、白色 (HEX 値 : FFFFFFFF) を設定します。



## 9 角丸正方形の「線」を設定する

角丸正方形が選択されている状態で、右サイドバーの[線]の右側にあるアイコン + をクリックすると①、自動的に黒の線が付きます。カラーピッカーを表示させて②、下部にある過去に使用した色の履歴から茶色のアイコンをクリックし③、コーヒー豆と同じ茶色に設定します。線の太さは「4」に設定します④。

**MEMO**  
右サイドバーの[塗り]や[線]のカラーコードの右にあるマイナスのアイコン - をクリックすると、[塗り]や[線]を「なし」にできます。



## 10 コーヒー豆を配置する

コーヒー豆のパーツを3つ選択して、ドラッグして角丸長方形の中央やや上に移動します①。バウンディングボックスの右上にマウスカーソルを配置して、カーソルがの形状になったことを確認し、ドラッグして大きさを微調整します②。

**CHECK**

### 彩度・明度・色相

色の鮮やかさを「彩度」(さいど)といいます。彩度を0にすると無彩色(モノトーン)になります。また、色の明るさを「明度」(めいど)といいます。明度を0にすると黒になります。カラーパレットの右にある色ほど鮮やかになり、彩度が上がります。また、カラーパレットの上ほど色が明るくなり、明度が上がります。色の種類である「色相」を変えずに明度や彩度を上げることで、トーンの統一感が出ます。

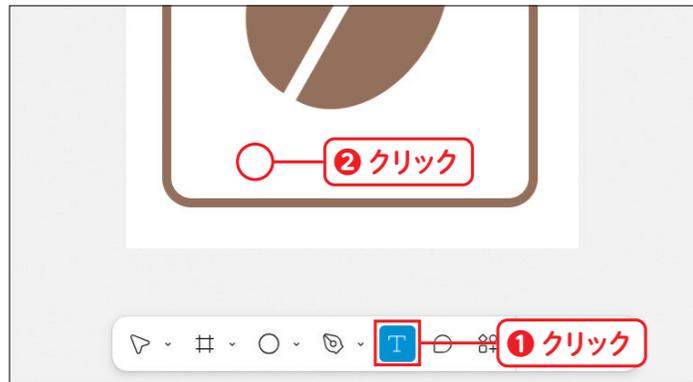
## Lesson 08

## 文字を入力しよう

ここでは、フォント（文字の種類）を検索する方法と、文字の基本的な入力方法を学びます。

練習ファイル ch1-7.fig

完成ファイル ch1-8.fig

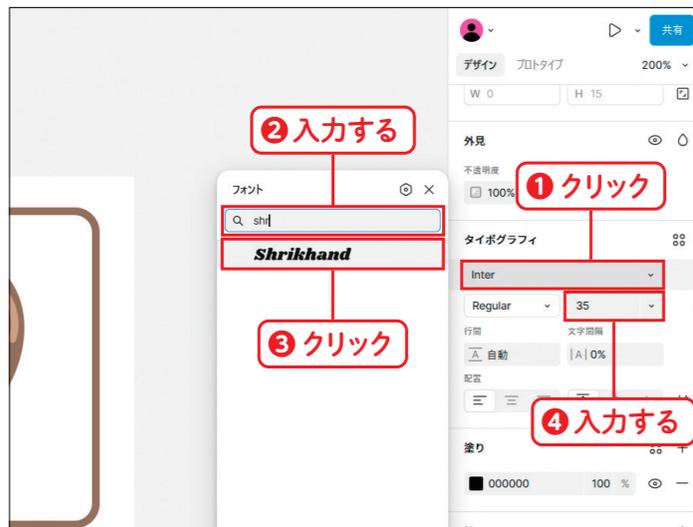


## 1 [テキスト] ツールを選択する

[テキスト] ツールをクリックして選択します①。キャンバス上を一度クリックします②。

## MEMO

入力した文字の位置はあとから調整するので、クリックする場所はフレームの外でも構いません。



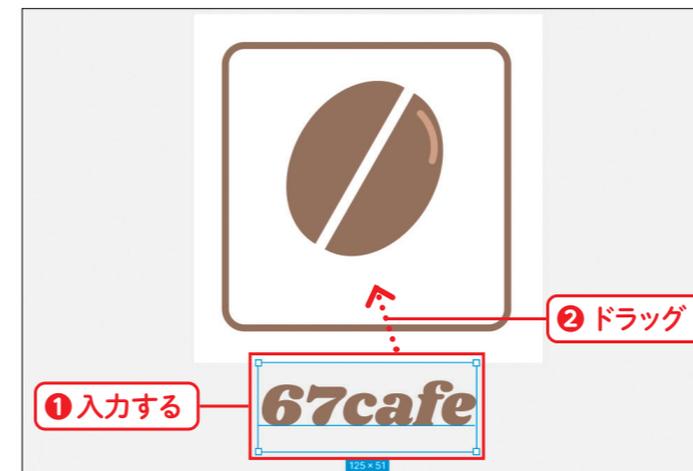
## 2 フォントを検索して設定する

右サイドバーの[タイポグラフィ]で設定します。「Inter」と表記されているフォント名の欄をクリックし①、虫眼鏡のマークの検索フォームへフォント名「Shrikhand」を入力してフォントを検索します②。「Shrikhand」のフォント名をクリックして選択し③、フォントサイズの欄に「35」と入力します④。



## 3 色を設定する

右サイドバーの[塗り]を設定します。四角形■をクリックして①、カラーピッカーを開きます。カラーピッカーの中にあるスポイトマークををクリックして選択し②、フレーム内のコーヒー豆の色をクリックして③、茶色をサンプリングします。



## 4 文字を入力する

「67cafe」と入力します①。入力した文字をツールバーの[移動]ツールで選択して、ドラッグしてコーヒー豆の下へ移動します②。



## 5 文字を移動する

キーボードのカーソルキーで文字の位置を調節して①、ロゴを完成させます。

## MEMO

文字の入力後、ドラッグや [Ctrl] (Mac は [Command]) + [A] で文字を選択してから、フォントや色などを変更することもできます。